SNSの怖さを

現在、有名飲食店での少年のいたずらが発覚し、大きな問題となっています。この行為を受け、店側は警察へ被害届を提出。器物破損、偽計業務妨害等に当たるとして書類送検。保護者と本人が謝罪をするも多額の損害賠償を請求されることが予想されています。しかしこれだけでは終わらない…

SNSにより加害少年の個人情報が特定され、あっという間にネット上で拡散。その後自主退学へ。今後、ネット上に拡散された情報は永久に残り、その少年が就職や結婚をする頃になると蒸し返され、何度も注目を浴びることになることが考えられます。

加害少年の行為は決して許されるものではありません。食の安全を脅かすものであり、厳正に対処されるべきであると思います。しかし、必要以上にその個人情報が回り、「さらし者」にされる必要もないと思います。本人を始め関係者が正しく罰を受け行いを悔い改めるとともに、私たちの食の安全が再び守られれば良いのですから。SNSの怖さを改めて実感した事件でした。

下は、ある親が、初めて我が子にスマートフォンを持たせたときに、子どもと交わした約束です。世界とつながる情報端末を持たせるには、持たせる側にもそれ相応の覚悟が必要だと気づかされます。

親愛なるグレゴリーへ

以下の規則を守ることができなかった場合、あなたのiPhone所有権も無くなります。

- ①これは私の携帯です。私が買いました。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？
- ②パスワードはかならず私に報告すること。
- ③これは「電話」です、鳴ったら必ず出ること。礼儀良く「こんにちは」と言いなさい。発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対に。
- ④学校がある日は7:30pmに携帯を私に返却します。週末は9:00pmに返却します。携帯は次の朝の7:30amまで電源オフになります。友達や親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSNSもしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
- ⑤iPhoneはあなたと一緒に学校には行けません。SNSをする子とは直接お話しなさい。人生のスキルです。
- ⑥万が一トイレや床に落としたり、無くしたり、破損させた場合の修理費用は自己負担です。家の芝生を刈ったり、ベビーシッターをしたり、お年玉でカバーしてください。こういうことは起こります、準備しててください。
- ⑦このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を罵倒したりしないこと。人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
- ⑧人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使ってSNSやメールでしないこと。
- ⑨ポルノ禁止。私とシェアできるような情報をウェブで検索してください。
- ⑩公共の場では消すなり、サイレントモードにすること。特にレストラン、映画館や他の人間と話す時はそうしてください。あなたは失礼なことをしない子です、iPhoneがそれを変えてはいけません。
- ⑪他の人にあなたの大事な所の写真を送ったり、貰ったりしてはいけません。とてもリスクなことだし、あなたの青春時代・大学時代・社会人時代を壊してしまう可能性だってあるのよ。インターネットはあなたより巨大で強いよ。出てしまったデータを消すのは難しいし、風評を消すのも尚更難しい。
- ⑫写真やビデオを必要以上に撮らないこと。経験を肌身で感じ、あなたの記憶に収録してください。
- ⑬ときどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。携帯は生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。流行に流されない、FOMO(自分だけが取り残されていると思ってしまう不安感)を気にしない器の人になってください。
- ⑭上を向いて歩いてください。あなたの周りの世界を良く見てください。窓から外をのぞいてください。鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください。
- ⑮あなたは失敗する。そのときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。また1からスタートします。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出していきましょう。

この条件を合意してくれることを願っているよ。ここにリストしてあるほとんどの条件は人生をうまく生きるための条件にも当てはまるものだから。 パパとママより